

## 地元に貢献する企業に期待

7月23日、(株)三輪工業（三輪貴宏代表取締役）が10月に表郷八幡で新本社を建設することが決まり、鈴木市長を訪問しました。

(株)三輪工業は、鉄・アルミ・ステンレス等の様々な素材の精密板金加工に実績のある企業で、業務拡大のため、本社を移転します。新本社の敷地面積は7,208㎡、建物面積は2,088㎡で、平成23年5月操業予定です。



## 小学生が市街地で一日店長

8月7日、五箇小（田島）の5年生12人が、本町の6店舗で一日店長を体験しました。

児童たちは、店内の清掃、お菓子作りや値札を貼る手伝い、接客などを行いました。終了後に開催した「店長会議」では、本町商店街の良いところについて、意見を出し合いました。

この体験は、本町の魅力や市中心市街地活性化について理解を深めるきっかけになりました。



▶大池郵便局長（左）

## 自然と清流の中で楽しみました

7月25日、隈戸川河川公園（大信増見）で「2010ふるさと川まつりinたいしん」が行われました。赤坂和太鼓の演奏やよさこい踊り、石引レース、餅まきなどの多くのイベントが行われ、参加者たちは大信地域の自然と清流に親しみながら楽しい一時を過ごしました。

また、24日には前夜祭が開催され、カラオケ大会や花火の打ち上げなどが行われました。



## ダルライザーが切手に

8月2日、白河のヒーローのダルライザー、敵役のダイスらが市役所を訪れ、ダルライザーを題材に作った切手シートが市へ贈られました。

郵便局東北支社（仙台市）がご当地キャラクターを題材に切手シートを作るのは、県内で初めてです。大池義剛鮫川郵便局長は「子どもたちに手紙に親しんでもらおうと作りました」と話していました。



## 23年ぶりのお城での花火に歓声

8月6日・7日、「白河関まつり」と「しらかわ美味しいまつり」が開催されました。

白河関まつりは、6日に城山公園内（郭内）で「市民納涼花火大会」、7日に本町・中町・天神町で「歩行者天国」が行われました。今年は、23年ぶりに城山公園内で花火が打ち上げられ、観客は、城と花火のコラボレーションに歓声を上げていました。

しらかわ美味しいまつりでは、JR白河駅前イベント広場で市内外の有名飲食店などが23ブースを設け、多彩な食を提供しました。また、ダルライザーが登場したショーでは、ダルライザーの新たな敵「アスラ」が初披露され、会場は盛り上がりを見せていました。

2つのまつりの同時開催により、会場周辺は大勢の来場者で大変賑わっていました。

## みんなで「道」を守ろう

「道の日」の8月10日に、市内各地において「クリーンロードキャンペーン」が行われました。これは、道路の役割や必要性について、理解と関心を深めてもらおうと毎年行われているものです。

参加者は各班に分かれ、道路の清掃活動や照明設備の点検、標識の清掃、1日道路パトロールなどを行いました。



▶山寺一事務局長（右）

## 南湖清掃ボランティアが大臣表彰

「南湖清掃ボランティア」が国土交通大臣水資源功績者表彰に選ばれ、8月4日、鈴木市長に受賞の報告に訪れました。このボランティア活動は、社川沿岸土地改良区（近藤玄市理事長）と市が主催しているもので、平成14年12月に、38年ぶりに南湖の水抜きを行ったことが始まりです。昨年は、12年ぶりにジュンサイの発芽がみられるほど水質が改善しました。